調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年1月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年1月分）	SMA（R6年1月分）
検査実施実人員数		

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病(※7)の表に疾病別の内訳も記入すること。

R6年1月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年1月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年1月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年1月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年1月分）	精密検査中の児（※6）（R6年1月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年1月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年1月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年2月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年2月分）	SMA（R6年2月分）
検査実施実人員数		

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病(※7)の表に疾病別の内訳も記入すること。

R6年2月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年2月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年2月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年2月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年2月分）	精密検査中の児（※6）（R6年2月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年2月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年2月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年3月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年3月分）	SMA（R6年3月分）
検査実施実人員数		

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病(※7)の表に疾病別の内訳も記入すること。

R６年３月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年3月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年3月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年3月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年3月分）	精密検査中の児（※6）（R6年3月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年3月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年3月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年4月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年4月分）	SMA（R6年4月分）
検査実施実人員数		

R６年４月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年4月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年4月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年4月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年4月分）	精密検査中の児（※6）（R6年4月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年4月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年4月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年5月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年5月分）	SMA（R6年5月分）
検査実施実人員数		

R６年５月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病(※7)の表に疾病別の内訳も記入すること。

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年5月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年5月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年5月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年5月分）	精密検査中の児（※6）（R6年5月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年5月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年5月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年6月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年6月分）	SMA（R6年6月分）
検査実施実人員数		

R６年６月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病(※7)の表に疾病別の内訳も記入すること。

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年6月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年6月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年6月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年6月分）	精密検査中の児（※6）（R6年6月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年6月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年6月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年7月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年7月分）	SMA（R6年7月分）
検査実施実人員数		

R６年７月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年7月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年7月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年7月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年7月分）	精密検査中の児（※6）（R6年7月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年7月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年7月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年8月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年8月分）	SMA（R6年8月分）
検査実施実人員数		

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病(※7)の表に疾病別の内訳も記入すること。

R6年8月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年8月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年8月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年8月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年8月分）	精密検査中の児（※6）（R6年8月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年8月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年8月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年9月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年9月分）	SMA（R6年9月分）
検査実施実人員数		

R６年９月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年9月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年9月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年9月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年9月分）	精密検査中の児（※6）（R6年9月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年9月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年9月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年10月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年10月分）	SMA（R6年10月分）
検査実施実人員数		

R６年１０月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年10月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年10月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年10月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年10月分）	精密検査中の児（※6）（R6年10月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年10月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年10月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年11月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年11月分）	SMA（R6年11月分）
検査実施実人員数		

R６年１１月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年11月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年11月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年11月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年11月分）	精密検査中の児（※6）（R6年11月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年11月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年11月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R6年12月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R6年12月分）	SMA（R6年12月分）
検査実施実人員数		

R６年１２月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R6年12月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R6年12月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R6年12月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R6年12月分）	精密検査中の児（※6）（R6年12月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R6年12月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R6年12月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R7年1月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R7年1月分）	SMA（R7年1月分）
検査実施実人員数		

R７年１月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R7年1月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R7年1月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R7年1月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R7年1月分）	精密検査中の児（※6）（R7年1月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R7年1月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R7年1月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R7年2月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R7年2月分）	SMA（R7年2月分）
検査実施実人員数		

R７年２月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R7年2月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R7年2月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R7年2月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R7年2月分）	精密検査中の児（※6）（R7年2月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R7年2月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R7年2月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ

調査票　新生児マススクリーニング検査に関する実証事業（SCIDとSMA）　　**R7年3月分**　　【別添様式3】

（都道府県・指定都市名）

文字又は数値を入力。
選択肢。
記入しない部分。

実証事業における検査の状況

区　　分（※1）	SCID（R7年3月分）	SMA（R7年3月分）
検査実施実人員数		

R７年３月に検査を実施した児について、それぞれの区分の人数を記載す

実証事業における疾病別患者数等

（単位：人）

疾病名		検査の結果、要精密検査となった児（※2）（R7年3月分）	精密検査の結果、当該疾病名の確定した児（※3）（R7年3月分）	精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※4）（R7年3月分）	精密検査の結果、疾病名が無かった児（※5）（R7年3月分）	精密検査中の児（※6）（R7年3月分）
		0	0	0	0	0
（定量PCR検査）免疫疾患	SCID（重症複合免疫不全症）	0	0	0	0	0
（定量PCR検査）神経・筋疾患	SMA（脊髄性筋萎縮症）	0	0	0	0	0

その他の疾病（※7）	精密検査の結果 当該疾病名以外の疾病名の確定した児（※7）（R7年3月分）
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

（単位：人）

（※1）「検査実施実人員数」は、対象月に当該実証事業で検査を実施した実人数を記入すること。ただし、2回以上受検した児は1人と数えること。

（※2）「検査の結果、要精密検査となった児」には、当該実証事業におけるマススクリーニング検査の結果、SCIDやSMAが疑われるため、精密検査が必要と判定された児の数を記入すること。

（※3）「精密検査の結果、当該疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMAの当該疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※4）「精密検査の結果、当該疾病名以外の疾病名の確定した児」には、精密検査によりSCIDとSMA以外の疾病名が確定した児の数を記入すること。

（※5）「精密検査の結果、疾病名が無かった児」には、精密検査を行っても疾患名がつかなかった児の数を記入すること。

（※6）「精密検査中の児」には、精密検査を実施中の児の数を記入すること。

（※7）上記対象疾患以外に、発見された疾患がある場合は、その他の疾病（※7）の表に疾病別の内訳も記入すること。

こども家庭庁およびこども家庭庁の研究班へ報告後に、R7年3月に検査を実施した児の状況に変更が生じた場合は、次の報告時に数字を更新して提出すること。（なお、前回報告と今回報告で数字を更新した部分が分かるよう、数字を更新した部分（該当セ